

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth<br/>Manna</h1> <p>マルコ1:35<br/>さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>  | <p style="text-align: right;">2022/8/29(月)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇132篇</h2> <p>詩篇132篇11節<br/>「主はダビデに誓われた。それは、主が取り消すことのない真実」<br/>みなはどうして聖書の言葉が真実だと思っている？中にはまだ信じられないなっている人もいるかもしれない。私が本当なんだなって思う1つの理由は、旧約・新訳聖書で「一貫性」があるから。神様の約束は、ダビデの子孫「あなたの身から出る子」(11v)としてこの世に来られ、「ダビデの王位」(ルカ1.32v)に着かれた方によって成就されている。<br/>このように、神様の真実はしっかりと歴史に基づいて消えることのない真実として存在する。そして私たちは今なお聖書の歴史の中を歩んでいます。光り輝く王冠(18v)をつけたイエス様が、もう一度私たちのところへ来ることを信じ期待しよう！</p> | <p style="text-align: right;">2022/8/30(火)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇133-134篇</h2> <p>今日は特に133篇を思い巡らそう！<br/>1節「兄弟たち」とは、肉親だけでなく、神様にある家族もだね！主にある兄弟姉妹がともに生きるとき、そこに大きな祝福が注がれると歌われているよ。<br/>2節「頭に注がれた尊い油」とは天から下る祝福を意味している。そして3節、北のヘルモン山の露は、大雨の後のような大粒の水滴となる。荒地、乾燥地であるシオンにヘルモンのように大量の露が降りるような、そんな祝福をここでは歌っているんだ。<br/>みんなは家の教会メンバーとの交わり(家の教会を越えた交わりも)をどれほど期待し、喜んでいるだろうか？今日は家の教会メンバーの名前を上げて、祝福のお祈りをしよう！</p> | <p style="text-align: right;">2022/8/31(水)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇135篇</h2> <p>本篇は、ハレルヤ(「主を褒め称えよ」)で始まり、ハレルヤで終わる。主の御名を褒め称えるとは、主ご自身を褒め称えることであり、この呼びかけは私たち信仰者すべてに対してのものである。<br/>またこの箇所では、主がどういうお方であるかが告白されている。<br/>①主はヤコブ(イスラエル)をご自分のために選ばれた(4)。<br/>②主は大いなる方で、「すべての神々にまさっておられる」(5)。<br/>③主はご自分の望むところをことごとく行われる(15-18)。<br/>④主は、救いの計画のために、エジプトでしるしと奇跡を行い、カナンの地をイスラエルに相続させられた(8-12)。<br/>⑤主はご自分の民を義によって裁き、そのしもべらをあわれむ方。<br/>このお方を褒め称えよと、詩人は何度も繰り返している。私たちにとって、心から喜んで主を褒め称えることがふさわしい礼拝であるといえる(ローマ12:1)。</p> |
| <p style="text-align: right;">2022/9/1(木)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ18:1-14</h2> <p>今日の箇所はゲッセマネの祈りと言われるところである。<br/>イエスは弟子たちを連れていつもの祈りの場所であるゲッセマネの園で祈っていた。そこにユダに手引きされて祭司長やパリサイ人、大勢の兵士たちがやってきてイエスを捕らえた。<br/>イエスはユダが裏切ることも、ゲッセマネの園で捕らえられることも最初から分かっていた。私たち人は分かっていたら回避する方向に動くだろう。しかし十字架による救いの成就のために全てを知っていてもイエスはその道を選ばれた。<br/>神様の計画をあなたは選び続けることができているだろうか？常に神様のみこころを祈り求めよう！！</p> | <p style="text-align: right;">2022/9/2(金)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ18:15-27</h2> <p>▶イエスがユダによって引き渡された夜、剣を抜いてイエスを守ろうとしたペテロは、イエスのために死ぬ覚悟があったのだろう。だから、ペテロは他の弟子たちが逃げ出した後もイエスについて行った。<br/>▶しかし、イエスの弟子であることを疑われたペテロは3度否定をしてしまう。スマホも写真もない時代、顔が広く知れ渡ることは無かったのだろう。ペテロはごまかすことができなくなってしまった。だが鶏が鳴いたとき、ペテロは自分の弱さや臆病さを知った。ペテロを愛しておられた主は、その弱かさをも知っておられた(13:38)。<br/>▶主は私たちのかっこ悪い部分も知っておられる。だからこそ、主の前で正直に祈りたい。</p>                              | <p style="text-align: right;">2022/9/3(土)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ18:28-40</h2> <p>イエス様が憎くてしょうがない祭司たちは、なんとかして死刑にしようと嘘の話をあげたけど、実際にはつじつまも合うはずがなかった。それぐらいイエス様は本当に罪が一切なかったんだ。<br/>その板挟みになったピラトはできれば関わりたくなかったから、なんとかその場をおさめようとしたけど、結局人々の勢いに飲まれてしまったね。<br/>本当の罪とはなにか、真理は何か分からないままの正義には、残念だけど力はない。だからこそ、神様が定めた罪、真理は何か祈りやみことばを通して知り続けていこう！</p>   | <p style="text-align: right;">2022/9/4(日)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ19:1-16</h2> <p>ユダヤ人たちの言葉と勢いに、ピラトは恐れを覚えた。<br/>人の言葉ばかりを聞き、その姿によって物事を決めようとしたピラトが正しく判断することは不可能だった。<br/>これまでにイエス様が語られていたことも、目の前でイエス様が語られていることも聞かずに、人の言葉を恐れたんだね。<br/>ピラトが本当に恐れるべきものは何だったのだろうか。そして、私たちは誰の言葉を一番に聞き、従っているだろうか。静まり、考えてみよう。</p>  |